

參考資料

参考資料

(1) 調査項目

内閣府委託調査

企業の採用活動に関する実態調査

<調査の趣旨等>

※本調査は、内閣府の委託により実施するものです。(委託により株式会社浜銀総合研究所が調査を企画し、株式会社サーベイリサーチセンターが調査票の発送・回収の業務を行っています。)

※企業規模や地域、業種の違いをふまえた上で、全国の企業から 3,000 社を無作為に抽出し、調査票をお送りさせていただきました。

※政府では、大学生等の就職・採用活動日程について、学生が学業に専念し、多様な経験ができる環境づくり等を図るため、就職・採用活動日程のルール等を設定しています。本調査は、企業における 2020 年 3 月卒業・修了予定者を中心とした採用活動の実態を把握し、2020 年度以降の就職・採用活動の円滑な実施に資することを目的として実施するものです。

※本調査により得られた情報は上記の目的以外に使用することはなく、企業名等が特定できる形で集計・公表することはありません。また、個別の企業が回答内容に基づき不利益を受けることは一切ありませんので、ありのままの状況をお答えください。

※誠に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

<調査の回答に関するお願い>

※貴社における学生の採用活動の状況について、選択肢から回答を選択していただくか、記入欄に回答をお願いいたします。なお、回答内容については、代表役員の方が必ずご確認くださいようお願いいたします。

※回答いただいた調査票は、返信用封筒に封入・封緘の上、2020 年 2 月 21 日(金)までにポストにご投函ください。(切手は不要です。企業名等を記載いただく必要もございません。)

※回収率向上のために、上記の期日前後にお電話等にて調査のご案内や回答のご依頼をさせていただきますが、何卒ご容赦ください。

<問い合わせ先>

本調査の目的や内容、データの取扱い、アンケートへの回答の方法等について、ご不明な点等がございましたら、以下までお問い合わせください。

<アンケートの目的や内容等について>

株式会社浜銀総合研究所 地域戦略研究部 (担当: 有海・石川・辻本・野口)

電話: 045-225-2372 / Mail: shukatsu-chosa@yokohama-ri.co.jp

<アンケートの返信方法や返信期限について>

株式会社サーベイリサーチセンター 社会情報部 (担当: 高久・佐伯・水口)

電話: 03-6825-5478 / Mail: shukatsu-chosa@surece.co.jp

【本調査の対象とする学生】

「2020年3月卒業・修了予定者」

- ・4年制又は6年制の大学及び大学院を2020年3月に卒業・修了予定の大学生及び大学院生を対象とします。2019年4月以降に外国の大学及び大学院を卒業・修了した者を含みます。
- ・一方、短期大学、高等専門学校、高等専修学校、高等学校などの卒業予定者は対象外としてください。

【用語の定義・説明】

「採用活動」「広報活動」「採用選考活動」

- ・「採用活動」は「広報活動」と「採用選考活動」に分けられます。
- ・「広報活動」とは、採用を目的として、学生の個人情報を取得・活用し、業界情報、企業情報、新卒求人情報等を学生に対して広く発信していく企業説明会などの活動を指します。不特定多数に向けた、「ホームページにおける文字や写真、動画などを活用した情報発信、文書や冊子等の文字情報によるPRなど」は含まれません。
- ・「採用選考活動」とは、一定の基準に照らして学生を選抜することを目的とした活動を指します。具体的には、選考の意思をもって学生の順位付けまたは選抜を行うもの、あるいは、当該活動に参加しないと選考のための次のステップに進めないものであり、こうした活動のうち、時間と場所を特定して学生を拘束して行う面接や試験などの活動を指します。
- ・学生の業界研究や企業研究に資する採用を目的としない一般的な企業情報の提供（一般的な広報）は「採用活動」には含まれません。

「就職活動」

- ・「就職活動」とは、学生が具体的な就職先を決定するための活動として、企業説明会への参加、エントリーシートの記入・提出、企業訪問など企業の「採用活動」に対応して行う活動を指します。

「就業体験」

- ・職場での業務体験等を経験するもので、企業の業務内容の説明や職場見学のものなどは含まれません。

「スカウト型のサイト」

- ・学生が登録した情報を参照して、企業側から学生にアプローチする形式の就職・採用に関するサイトのこと。逆求人型サイトともいう。

「新卒エージェント」

- ・学生が登録すると担当者がつき、就職活動の相談・助言や求人情報の紹介等を行うサービスのこと。

「リクルーター」

- ・学生と個別に接点を持ち、自社アピールや採用選考の案内・助言等を行う社員のこと。

「リファラル」

- ・企業が求人媒体等を通して広く募集するのではなく、社員やOB/OGの人脈の中から自社に適性のある学生を紹介してもらう方法のこと。

「SNSでの募集・受付」

- ・「SNS」は、ソーシャル・ネットワーキング・サービスのこと。SNSを活用した採用活動をソーシャルリクルーティングともいう。

1. 貴社について伺います

問1 業種を教えてください。複数該当する場合は、直近年度の総売り上げに占める割合が最も大きい分野を回答してください。(一つを選択)

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 農業、林業、漁業 | 2. 鉱業、採石業、砂利採取業 |
| 3. 建設業 | 4. 製造業 |
| 5. 電気、ガス、熱供給、水道業 | 6. 情報通信業 |
| 7. 運輸業、郵便業 | 8. 卸売業、小売業 |
| 9. 金融業、保険業 | 10. 不動産業、物品賃貸業 |
| 11. 学術研究、専門・技術サービス業 | 12. 宿泊業、飲食サービス業 |
| 13. 生活関連サービス業、娯楽業 | 14. 教育、学習支援業 |
| 15. 医療・福祉 | 16. 複合サービス業 |
| 17. サービス業（他に分類されないもの） | 18. その他（具体的に： _____） |

問2 貴社の正社員の従業員数について教えてください。(一つを選択)

- | | | |
|------------------|--------------|------------------|
| 1. 99人以下 | 2. 100人～199人 | 3. 200人～299人 |
| 4. 300人～499人 | 5. 500人～999人 | 6. 1,000人～4,999人 |
| 7. 5,000人～9,999人 | 8. 10,000人以上 | |

問3 貴社の本社の所在地の都道府県を教えてください。(文字で回答)

都・道・府・県

問4 貴社は、外資系企業に該当しますか。(一つを選択)

※ここでの外資系企業とは、以下の企業をいいます。

- ①外国投資家が株式又は持分の3分の1超を所有している企業であって、外国側筆頭出資者の出資比率が10%以上である企業
- ②外国投資家が株式又は持分の3分の1超を所有している国内法人が出資する企業であって、外国投資家の直接出資比率及び間接出資比率の合計が、当該企業の株式又は持分の3分の1超となり、かつ、外国側筆頭出資者の出資比率が10%以上である企業

- | | | |
|---------------|----------------|----------|
| 1. 外資系企業に該当する | 2. 外資系企業に該当しない | 3. わからない |
|---------------|----------------|----------|

2. 2020年3月卒業・修了予定者の採用活動の状況について伺います

問5 貴社では、2020年3月卒業・修了予定者に対して、採用活動を行いましたか。(一つを選択)

- | | |
|--------|-----------|
| 1. 行った | 2. 行わなかった |
|--------|-----------|

※問5で「1. 行った」とご回答いただいた場合は、次ページの問6以降に進んでください。

※問5で「2. 行わなかった」とご回答いただいた場合は、これで調査は終了です。

(問6以降は、問5で「1. 行った」とご回答いただいた場合に伺います。)

問6 2020年3月卒業・修了予定者について、現時点で実際に採用を予定している人数(採用予定人数)を、職種別に教えてください。(数字で人数を回答)

※採用予定者のいない職種については「0人」と回答してください。

※職種別での回答が難しい場合には、「合計」の欄のみ回答してください。

職種	採用予定人数	職種についての説明
事務系	人	「事務系」とは、基幹的業務要員であり、事務、営業、将来はマネジメント業務が期待される者です。
技術系	人	「技術系」とは、技術や知識を生かし、開発や専門業務に従事する者です。
その他	人	「その他」には、定型的な一般事務・販売・現業等を行う者も含まれます。
合計	人	

問7 2020年3月卒業・修了予定者の採用活動を行った際、採用方針として、どのような特徴の人物像を求めましたか。(あてはまるものを最大8つ選択)

1. 専門分野の知識・技術等が高い	2. 企業・業界への知識が豊富
3. リーダーシップを発揮できる	4. 行動力がある
5. 協調性がある	6. コミュニケーション能力が高い
7. 論理的思考力が高い	8. 好奇心旺盛である
9. チャレンジ精神が高い	10. 独創的である
11. 専門性・能力を伸ばしたいという意識が高い	12. 独立心が強い
13. 地頭が良い	14. 誠実である
15. ストレス耐性が高い	16. 責任感が強い
17. 課題解決力が高い	18. その他(具体的に:)
19. 特に想定していなかった	

問8 2020年3月卒業・修了予定者の採用活動を行った際、採用のターゲット(特に重点的に採用したい学生の属性等)はありましたか。(あてはまるものを全て選択)

1. 事務系(営業を含む)の職種を志望する学生
2. 技術系の職種を志望する学生
3. 著名な大学(大学院)・偏差値が高い大学(大学院)の学生
4. 海外の大学(大学院)の学生
5. 本社・支社・営業所等の近隣の大学(大学院)の学生
6. 大学院の学生
7. 文系学部・専攻の学生
8. 理系学部・専攻の学生
9. 文理融合型の教育を受けている学生(STEAM人材など)
※STEAM人材とは、Science、Technology、Engineering、Art、Mathematics等の各教科での学習を 実社会での課題解決に生かしていくための教科横断的な教育を受けた人材。
10. その他特定の学部・専攻の学生(具体的に:)
11. その他の条件に合致する学生(具体的に:)
12. 特にターゲットは想定しなかった

問9 2020年3月卒業・修了予定者の採用活動に関する方針について、貴社の考えはAとBどちらに近いものでしたか。(一つを選択)

【量・質について】

A：募集人数が確保できなくても、質の高い学生を採用したい

B：質が低くても、募集人数を確保したい

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. Aに近い | 2. どちらかといえばAに近い |
| 3. どちらかといえばBに近い | 4. Bに近い |

【メンバーシップ型採用・ジョブ型採用について】

A：職務等を限定せずに、学生のポテンシャルを重視して採用する（メンバーシップ型採用）

B：職務等を限定して、専門的スキルを重視して採用する（ジョブ型採用）

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. Aに近い | 2. どちらかといえばAに近い |
| 3. どちらかといえばBに近い | 4. Bに近い |

※問9では、「2020年3月卒業・修了予定者の採用活動」について、貴社がどのような方針であったかを質問しています。14ページの間34では、今後の貴社の採用形態がメンバーシップ型とジョブ型でどのように変わっていくかを質問しています。問9の回答に当たっては問34も併せてご検討ください。

3. 2020年3月卒業・修了予定者を対象としたインターンシップの実施状況について伺います

問10 貴社は、2020年3月卒業・修了予定者を対象としたインターンシップを行いましたか。(一つを選択)

※インターンシップの参加要件が、2020年3月卒業・修了予定者に限定されない場合でも、参加者の大半が2020年3月卒業・修了予定者の場合には、「行った」と回答してください。

- | | |
|--------|-----------|
| 1. 行った | 2. 行わなかった |
|--------|-----------|

※問10で「1. 行った」とご回答いただいた場合は、次ページの間11以降に進んでください。

※問10で「2. 行わなかった」とご回答いただいた場合は、次は8ページ目の間18（広報活動の実施状況）へ進んでください。

(問 11～問 17 は、問 10 で「1. 行った」とご回答いただいた場合に伺います。)

問 11 2020 年 3 月卒業・修了予定者を対象としたインターンシップの募集を行う際に、どのような経路で募集を行いましたか。(あてはまるものを全て選択)

1. スカウト型のサイトを活用しての募集 2. 新卒エージェントを通じた募集 3. リクルーター、大学の OB/OG、リファラルによる募集 4. 大学就職部・キャリアセンターを通じた募集 5. 大学研究室・指導教員への案内 6. ハローワークなど公的機関への案内 7. 自社でアルバイトをしている学生への案内 8. 自社ホームページでの直接募集・受付 9. ナビ型のサイトを活用して直接募集・受付 10. SNS での募集・受付 11. その他(具体的に：)
--

問 12 2020 年 3 月卒業・修了予定者を対象としたインターンシップの募集経路(上記の問 11 でたずねた経路)のうち、最も早期に行った主な経路はどれですか。(問 11 で示した選択肢から、該当する番号を一つ枠内に数字で記入)
 また、その経路で募集を始めた時期を教えてください。(一つを選択)

最も早期に行った主な経路 (問 11 の選択肢 1~11 から、番号を一つ記入)	左の経路でインターンシップの募集を始めた時期 (一つを選択)																
	時期	2018 年										2019 年					
		3月以前	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月以降
	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	

問 13 貴社が 2020 年 3 月卒業・修了予定者を対象としたインターンシップを実施した時期はいつですか。インターンシップを行った「最初」の時期、2020 年 3 月卒業・修了予定者の参加者数が最も多かった「ピーク」の時期、開催の「最後」の時期について教えてください。(それぞれ、あてはまる記号一つを選択)

インターンシップを実施した時期 (「最初」「ピーク」「最後」について、それぞれ、あてはまる記号一つを選択)																
時期	2018 年										2019 年					
	3月以前	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月以降
最初	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p
ピーク	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p
最後	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p

問 14 2020年3月卒業・修了予定で実際に採用を予定している者（採用予定者）のうち、貴社のインターンシップに参加した者は、どのくらいの割合を占めていますか。（一つを選択）

0%	0%超 10%未満	10%以上 20%未満	20%以上 30%未満	30%以上 40%未満	40%以上 50%未満	50%以上 60%未満	60%以上 70%未満	70%以上 80%未満	80%以上 90%未満	90%以上 100%未満	100%
a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l

※問 14 で「0%」（選択肢記号 a）以外をご回答いただいた場合は、問 15 以降に進んでください。

※問 14 で「0%」（選択肢記号 a）とご回答いただいた場合は、次は 8 ページ目の問 18（広報活動の実施状況）へ進んでください。

（問 15～問 17 は、問 14 で「0%」（選択肢記号 a）以外をご回答いただいた場合に伺います。）

問 15 上記の問 14 でお答えいただいた、貴社のインターンシップに参加した採用予定者は、どの時期にどれくらいの期間のインターンシップに参加しましたか。

なお、複数の期間のインターンシップがある場合は、「採用予定者の最も多くが参加したインターンシップ」（以下「ボリュームゾーンインターンシップ」という。）の時期・期間について教えてください。

また、複数の期間のインターンシップがある場合には、さらに、そのボリュームゾーンインターンシップに参加した採用予定者が、貴社の採用予定者数全体に占める割合をお答えください。

※時期については、そのインターンシップが開始された月を回答してください。

【時期】（採用予定者が参加したインターンシップ（複数の期間のインターンシップがある場合には、ボリュームゾーンインターンシップ）の開始時期、一つを選択）

時期	2018 年										2019 年					
	3月以前	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月以降
	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p

【期間】（採用予定者が参加したインターンシップ（複数の期間のインターンシップがある場合には、ボリュームゾーンインターンシップ）の期間、一つを選択）

1. 1日	2. 2日～4日	3. 5日～14日
4. 15日～1か月未満	5. 1か月～3か月未満	6. 3か月以上

（下記の間は、採用予定者が参加したインターンシップの期間が複数ある場合に伺います。採用予定者が参加したインターンシップの期間が1つの場合は、問 14 と同一の内容になりますので、下記には回答せず、次の問 16 にお進みください。）

【採用予定者数全体に占める割合】

（採用予定者全体に占める、ボリュームゾーンインターンシップに参加した採用予定者数の割合、一つを選択）

※例えば、採用予定者数が 100 人、ボリュームゾーンインターンシップの期間が「1日」で、「1日」のインターンシップに参加した採用予定者数が 30 人だった場合には「30%以上 40%未満」の欄に回答してください。

0%超 10%未満	10%以上 20%未満	20%以上 30%未満	30%以上 40%未満	40%以上 50%未満	50%以上 60%未満	60%以上 70%未満	70%以上 80%未満	80%以上 90%未満	90%以上 100%未満
a	b	c	d	e	f	g	h	i	j

問 16 問 15 でご回答いただいた、「採用予定者が参加したインターンシップ（複数の期間のインターンシップがある場合には、ボリュームゾーンインターンシップ）」について、インターンシップへの参加をその後の採用活動に結びつけるようなことを行いましたか。（一つを選択）

1. インターンシップへの参加を採用選考の必須条件とし、参加者のインターンシップにおける評価を採用選考に利用した
2. インターンシップへの参加を採用選考の必須条件としたが、参加者のインターンシップにおける評価を採用選考には利用しなかった
3. インターンシップ参加者に、企業説明会等の広報活動や面接等の採用選考へ応募するよう個別に勧誘し、応募があった場合には、インターンシップにおける評価を採用選考に利用した
4. インターンシップ参加者に、企業説明会等の広報活動や面接等の採用選考へ応募するよう個別に勧誘したが、応募があった場合でも、インターンシップにおける評価は採用選考に利用しなかった
5. インターンシップ参加者に、企業説明会等の広報活動や面接等の採用選考へ応募するよう個別に勧誘はしなかったが、応募があった場合には、インターンシップにおける評価を採用選考に利用した
6. インターンシップは採用活動とは関係していない

問 17 問 15 でご回答いただいた、「採用予定者が参加したインターンシップ（複数の期間のインターンシップがある場合には、ボリュームゾーンインターンシップ）」について、インターンシップの実施後、採用活動に関する連絡をどのように行いましたか。（一つを選択）

1. 採用選考活動の一環としてインターンシップを実施しているため、改めて連絡はしなかった
2. インターンシップ参加者に対して、当該参加者に限定した企業説明会等の広報活動や面接等の採用選考へ応募するよう勧誘した
3. インターンシップ参加者に対して、当該参加者以外も応募（プレエントリー、エントリー）可能な企業説明会等の広報活動や面接等の採用選考へ応募するよう勧誘した
4. インターンシップ参加者に対し企業側から連絡はしていない

※問 17 にご回答いただいた方は、続けて問 18 へ進んでください。

4. 2020 年 3 月卒業・修了予定者を対象とした広報活動の実施状況について伺います

問 18 2020 年 3 月卒業・修了予定者の採用を目的とした広報活動を開始した時期はいつでしたか。（一つを選択）

※通年で採用活動を行っており、その旨を広報している場合などは、「通年」の欄を選択してください。

※インターンシップの募集が実質的に最も早期に実施した広報活動にあたる場合には、お手数ですが、問 12 でお答えいただいたインターンシップの募集時期を再度ご記入ください。

広報活動を開始した時期（一つを選択）																	
時期	通年	2018 年										2019 年					
		3月以前	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月以降
	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q

※問 18 にご回答いただいた方は、続けて問 19 へ進んでください。

5. 2020年3月卒業・修了予定者を対象とした採用選考活動の実施状況について伺います

問 19 貴社が2020年3月卒業・修了予定者を対象とした採用選考活動を実施した時期はいつですか。採用選考活動を行った「最初」の時期、「ピーク」の時期、「最後」の時期について教えてください。（それぞれ、あてはまる記号一つを選択）

※通年で採用活動を行っている場合は、実際に学生からの応募があり、採用選考活動を行った時期を回答してください。

※インターンシップが実質的に採用選考活動にあたる場合には、インターンシップも含めて、採用選考活動の実施時期をお答えください。

採用選考活動を実施した時期 （「最初」「ピーク」「最後」について、それぞれ、あてはまる記号一つを選択）																
時期	2018年										2019年					
	3月以前	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月以降
最初	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p
ピーク	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p
最後	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p

問 20 上記問 19 でご回答いただいた「最初」の採用選考活動は、どのような募集経路を利用しましたか。（あてはまるものを全て選択）

1. スカウト型のサイトを活用しての募集
2. 新卒エージェントを通じた募集
3. リクルーター、大学のOB/OG、リファラルによる募集
4. 大学就職部・キャリアセンターを通じた募集
5. 大学研究室・指導教員への案内
6. ハローワークなど公的機関への案内
7. 自社でアルバイトをしている学生への案内
8. インターンシップ参加学生への案内
9. 自社ホームページでの直接募集・受付
10. ナビ型のサイトを活用して直接募集・受付
11. 企業説明会等に参加した学生への案内
12. SNS での募集・受付
13. その他（具体的に： _____)

※問 19 で採用選考活動を実施した「最初」の時期について、「2019年6月以降」（選択肢記号 p）以外の時期をご回答いただいた場合は、次ページの間 21 以降に進んでください。

※問 19 で採用選考活動を実施した「最初」の時期について、「2019年6月以降」（選択肢記号 p）とご回答いただいた場合は、次は 12 ページ目の間 25 へ進んでください。

(問 21～問 24 は、問 19 で採用選考活動を実施した「最初」の時期について、「2019 年 6 月以降」(選択肢記号 p) 以外の時期をご回答いただいた場合に伺います。)

問 21 2019 年 6 月より前に採用選考活動を開始した理由について、あてはまるものを教えてください。
(あてはまるものを最大 3 つ、優先順位をつけて回答)

【回答欄】(下記の選択肢 A～Gの中から選んで枠内に回答)

優先順位 1 位		優先順位 2 位		優先順位 3 位	
----------	--	----------	--	----------	--

【選択肢】

A. 競合他社が早期の採用活動を行っているため B. 採用したい質の学生が早期の就職活動を行っているため C. 学生に自社を就職活動の対象として認知してもらうため D. 自社のインターンシップを経験した学生を採用するため E. 学生との接点(機会・期間)を増やし、ミスマッチを少なくするため F. 早期に内々定を出して、入社後必要な技術や知識を習得してもらうため G. その他の理由(具体的に： _____)

問 22 2020 年 3 月卒業・修了予定者を対象とした採用選考活動を 2019 年 6 月より前に開始することについて、どのような形で学生等に伝達しましたか。(一つを選択)

1. 誰でも参照できる形で公表した(自社ホームページやナビ型のサイトなど) 2. 特定の学生のみに伝えた(インターンシップに参加した学生のみに伝えたなど) 3. 募集経路により、誰でも参照できる形で公表した場合と特定の学生にのみ伝えた場合の両方があった
--

問 23 2019 年 6 月より前に採用選考活動を行う理由を、何らかの形で対外的に明らかにしたことはありますか(ホームページに掲載する、プレスからの質問に答えるなど)。(一つを選択)

1. ある	2. ない
-------	-------

問 24 2020 年 3 月卒業・修了予定者を対象とした採用選考活動の時期について、職種、学位、属性等により差異を設けていましたか。それぞれ、差異を設けていたか否かについてご回答（それぞれ、一つを選択）の上、差異を設けていた場合には、どのような差異を設けていたかについて教えてください。（あてはまるものを全て選択）

条件・属性等	採用選考活動の時期について差異を設けていましたか	どのような差異を設けていましたか (採用選考活動の時期について差異を設けているかについて、「1. 設けていた」を回答した方のみ、内容ごとにあてはまるものを全て選択)
募集の職種	1. 設けていた 2. 設けていなかった	1. 事務系職種（営業を含む）を志望する学生の場合に早い 2. 技術系職種を志望する学生の場合に早い 3. その他特定の職種を志望する学生の場合に早い (具体的に:)
大学	1. 設けていた 2. 設けていなかった	1. 著名な大学（大学院）・偏差値が高い大学（大学院）の学生の場合に早い 2. 海外の大学（大学院）出身の学生の場合に早い 3. 本社・支社・営業所等の近隣の大学（大学院）の学生の場合に早い 4. その他特定の条件を満たす大学（大学院）出身の学生の場合に早い (具体的に:)
学位	1. 設けていた 2. 設けていなかった	1. 大学院の学生に比べ学部学生の方が早い 2. 学部学生に比べ大学院の学生の方が早い
学部・専攻	1. 設けていた 2. 設けていなかった	1. 文系学部・専攻の学生の場合に早い 2. 理系学部・専攻の学生の場合に早い 3. 文理融合型の教育を受けている学生（STEAM 人材など）の場合に早い ※STEAM 人材とは、Science、Technology、Engineering、Art、Mathematics 等の各教科での学習を実社会での課題解決に生かしていくための教科横断的な教育を受けた人材。 4. 業務の内容に合致した学部・専攻の学生の場合に早い 5. 他社との獲得競争が激しい学部・専攻の学生の場合に早い (具体的に:) 6. その他特定の学部・専攻の学生の場合に早い (具体的に:)
説明会やインターシップ参加等活動の有無	1. 設けていた 2. 設けていなかった	1. インターンシップに参加した学生の場合に早い 2. エントリーや企業説明会の参加時期が早い学生の場合に早い 3. 企業説明会等の参加頻度が高い学生の場合に早い 4. スカウト型のサイトでアプローチした学生の場合に早い 5. 新卒エージェントの紹介による学生の場合に早い 6. リクルーターとの面談、OB/OG 訪問、リファラルで募集を行った学生の場合に早い 7. 教員や大学の推薦／指定校の場合に早い 8. その他採用選考活動前に特定の活動を行った学生の方が早い (具体的に:)

※問 24 にご回答いただいた方は、続けて問 25 へ進んでください。

6. 2020年3月卒業・修了予定者への内々定の状況について伺います

問 25 貴社が2020年3月卒業・修了予定者へ内々定を出した時期はいつですか。内々定を出した「最初」の時期、「ピーク」の時期、「最後」の時期について教えてください。（それぞれ、あてはまる記号一つを選択）

※以下での「内々定」とは、「内定」を含むとともに、文書や口頭で、「内々定」と伝えてはいるが、「正式には2019年6月に内々定」、「2019年6月に呼びます」、「合格」、「他の企業は受けなくて良い」、「オファー」など、実質的に内々定とみなせる行為を含みます。

内々定を出した時期 （「最初」「ピーク」「最後」について、それぞれ、あてはまる記号一つを選択）																	
時期	内々定を出していない	2018年										2019年					
		3月以前	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月以降
最初		b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q
ピーク	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q
最後		b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q

問 26 内々定を出した学生に対する内々定承諾者の割合を、2019年2月28日時点、2019年5月31日時点、2019年10月1日時点のそれぞれについて、教えてください。（それぞれ、あてはまる記号一つを選択）

※「内々定を出した学生のうち内々定を承諾した割合」として、例えば、2月28日時点で、10人の学生に内々定を出しており、そのうち5人から内々定の承諾を得られていた場合には、「50%以上 60%未満」の欄に回答してください。

※「内々定」は、内定を含むとともに、実質的に内々定とみなせる行為を含みます。

2月28日、5月31日、10月1日の各時点で内々定を承諾した学生の割合 （それぞれ、あてはまる記号一つを選択）													
	内々定を出していない	0%	0%超 10%未満	10%以上 20%未満	20%以上 30%未満	30%以上 40%未満	40%以上 50%未満	50%以上 60%未満	60%以上 70%未満	70%以上 80%未満	80%以上 90%未満	90%以上 100%未満	100%
2019年2月28日時点	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m
2019年5月31日時点	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m
2019年10月1日時点	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m

問 27 2020年3月卒業・修了予定者の募集人数に対する内々定承諾者の割合を、2019年2月28日時点、2019年5月31日時点、2019年10月1日時点のそれぞれについて、教えてください。（それぞれ、あてはまる記号一つを選択）

※各時点で、貴社の募集人数に占める、内々定を承諾した学生数の割合をお考えください。例えば、2月28日時点で、募集人数に対し内々定を承諾した学生が半分いる場合には、「50%以上 60%未満」の欄に回答してください。

※「内々定」は、内定を含むとともに、実質的に内々定とみなせる行為を含みます。

2月28日、5月31日、10月1日の各時点で募集人数に対する内々定を承諾した学生の割合 （それぞれ、あてはまる記号一つを選択）													
	内々定を出していない	0%	0%超 10%未満	10%以上 20%未満	20%以上 30%未満	30%以上 40%未満	40%以上 50%未満	50%以上 60%未満	60%以上 70%未満	70%以上 80%未満	80%以上 90%未満	90%以上 100%未満	100%
2019年2月28日時点	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m
2019年5月31日時点	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m
2019年10月1日時点	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m

※採用活動は行ったが内々定を出していない場合（問 25～問 27 でいずれも選択肢記号 a とご回答）は、次は次ページの間 32 へ進んでください。
 ※内々定を出したが、現時点で内々定を承諾した学生が 0 人である場合は、問 28 にご回答の上、次ページの間 32 へ進んでください。
 ※内々定を承諾した学生が 1 人以上いる場合は、続けて問 28 以降へ進んでください。

問 28 貴社では、2020 年 3 月卒業・修了予定者に内々定を出した後、入社までの間に学生に対して、どのような流出防止のための取組を行ってききましたか。（あてはまるものを全て選択）

※参加が任意のものも含まれます。

※「内々定」は、内定を含むとともに、実質的に内々定とみなせる行為を含みます。

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. 内々定式の開催 | 2. 内々定者の懇親会（食事会）の開催 |
| 3. 人事担当職員との面談(食事会含む) | 4. 先輩職員との面談（食事会含む） |
| 5. 社内行事への参加 | 6. 担当の職員を配置し連絡・相談等に対応 |
| 7. メールや電話、SNS での定期的な連絡 | 8. 座学等での研修の実施 |
| 9. 職場・施設等の見学 | 10. 研修目的のインターンシップの実施 |
| 11. 自社でのアルバイトの受入 | 12. 課題・レポート等の提出 |
| 13. 資格の取得（費用は企業負担） | 14. 短期留学・海外研修（費用は企業負担） |
| 15. 誓約書の提出 | 16. 学校推薦書・推薦状の提出 |
| 17. その他（具体的に： _____) | |
| 18. 何もしていない | |

7. 採用活動の成果や課題認識等について伺います

問 29 2020 年 3 月卒業・修了予定で実際に採用を予定している者（採用予定者）について、質の面での満足度について教えてください。（一つを選択）

- | | | | |
|----------|---------------|---------------|----------|
| 1. 非常に満足 | 2. どちらかといえば満足 | 3. どちらかといえば不満 | 4. 非常に不満 |
|----------|---------------|---------------|----------|

問 30 2020 年 3 月卒業・修了予定で実際に採用を予定している者（採用予定者）について、量の面での満足度について教えてください。（一つを選択）

- | | | | |
|----------|---------------|---------------|----------|
| 1. 非常に満足 | 2. どちらかといえば満足 | 3. どちらかといえば不満 | 4. 非常に不満 |
|----------|---------------|---------------|----------|

問 31 2020 年 3 月卒業・修了予定で実際に採用を予定している者（採用予定者）全体の特征として、次のうち該当するものを教えてください。（あてはまるものを最大 8 つ選択）

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| 1. 専門分野の知識・技術等が高い | 2. 企業・業界への知識が豊富 |
| 3. リーダーシップを発揮できる | 4. 行動力がある |
| 5. 協調性がある | 6. コミュニケーション能力が高い |
| 7. 論理的思考力が高い | 8. 好奇心旺盛である |
| 9. チャレンジ精神が高い | 10. 独創的である |
| 11. 専門性・能力を伸ばしたいという意識が高い | 12. 独立心が強い |
| 13. 地頭が良い | 14. 誠実である |
| 15. ストレス耐性が高い | 16. 責任感が強い |
| 17. 課題解決力が高い | 18. その他（具体的に： _____) |
| 19. 特に特徴はない | |

問 32 採用活動に関する近年の課題について、貴社の認識を教えてください。（あてはまるものを全て選択）

1. 広報活動及び採用選考活動の期間が長く負担が大きい	2. 内々定承諾率が低い
3. 内々定を出した学生をつなぎとめる負担が大きい	4. 雇用のミスマッチが懸念される
5. 募集人数を確保することが難しい	6. 自社が求める質の人材を確保することが難しい
7. 人材の多様性の確保が難しい	
8. その他（具体的に： _____）	
9. 特に課題はない	

問 33 新卒の採用選考活動等を効率的に行うには、どういった方法を強化することが有効とお考えですか。（あてはまるものを最大3つ、優先順位をつけて回答）

【回答欄】（下記の選択肢A～Jの中から選んで枠内に回答）

優先順位 1 位		優先順位 2 位		優先順位 3 位	
----------	--	----------	--	----------	--

【選択肢】

A. 筆記試験	B. 面接
C. インターンシップにおける就業体験	D. グループディスカッション等
E. 大学（大学院）における成績の評価	F. 特定分野での研究成果の評価
G. 特定の資格を有することへの評価	H. 人工知能（AI）等のテクノロジーの活用
I. その他（具体的に： _____）	
J. 特になし	

問 34 現在の貴社における新卒の採用形態にかかわらず、今後、貴社における新卒の採用形態は、どのようになるとお考えですか。（一つを選択）

※メンバーシップ型採用とは、職務等を限定せずに、学生のポテンシャルを重視する採用、ジョブ型採用とは職務等を限定して、専門的スキルを重視する採用をいいます。

1. ジョブ型採用のみの採用形態
2. ジョブ型採用中心であるが、メンバーシップ型採用も実施
3. メンバーシップ型採用とジョブ型採用を同じくらい実施
4. メンバーシップ型採用中心であるが、ジョブ型採用も実施
5. メンバーシップ型採用のみの採用形態
6. その他（具体的に： _____）

問 35 上記の問 34 でお答えいただいた、今後の「貴社における新卒の採用形態」について、そう考えた理由を教えてください。（自由回答）

--

問 36 現在、日本における新卒の採用形態は、「メンバーシップ型採用」が中心とされています。今後、日本における望ましい新卒の採用形態は、どうあるべきとお考えですか。(一つを選択)

※メンバーシップ型採用とは、職務等を限定せずに、学生のポテンシャルを重視する採用、ジョブ型採用とは職務等を限定して、専門的技能を重視する採用をいいます。

1. ジョブ型採用中心の採用形態に移行すべき
2. メンバーシップ型採用とジョブ型採用が同じくらいであるべき
3. メンバーシップ型採用を中心に、ジョブ型採用を今より増やしていくべき
4. 今のメンバーシップ型採用中心の採用形態を維持するべき
5. その他(具体的に：)

問 37 上記の間 36 でお答えいただいた、今後の「日本における望ましい新卒の採用形態」について、そう考えた理由を教えてください。(自由回答)

問 38 今後、日本におけるインターンシップと採用活動の関係は、どうあるべきとお考えですか。(就業体験を伴う／伴わないインターンシップのそれぞれについて、一つを選択)

【就業体験を伴うインターンシップについて】

1. 就業体験を伴うインターンシップを行い、参加した学生の評価を、採用選考活動に活用すべきである
2. 就業体験を伴うインターンシップを行い、参加した学生の連絡先のみを、採用活動に活用すべきである
3. 就業体験を伴うインターンシップを行うが、採用活動と切り離して行うべきである
4. 就業体験を伴うインターンシップは行うべきではない
5. 就業体験を伴うインターンシップについて、その他
(具体的に：)

【就業体験を伴わないインターンシップについて】

1. 就業体験を伴わないインターンシップを行い、参加した学生の評価を、採用選考活動に活用すべきである
2. 就業体験を伴わないインターンシップを行い、参加した学生の連絡先のみを、採用活動に活用すべきである
3. 就業体験を伴わないインターンシップを行うが、採用活動と切り離して行うべきである
4. 就業体験を伴わないインターンシップは行うべきではない
5. 就業体験を伴わないインターンシップについて、その他
(具体的に：)

ご協力ありがとうございました。返信用封筒に入れて 2020年2月21日(金)までにご返送ください。